

# リーダーの判断。

教訓。

## 短時間で判断して、屋上へ避難。

宮城県山元町の中浜小学校では、地震直後約10分で津波が到達するとの報道を受け、学校長の瞬時の判断で、指定場所へ避難するのではなく、二階建て校舎の屋上の屋根裏倉庫への避難を決断した。

津波の高さは二階の天井近くまであがったものの、屋上へは到達することなく、児童、保護者等を含む90名が、暖をとりながら夜を明かした。翌日には無事ヘリで救出され、その結果、一人の犠牲者も出なかった。

なお、この校舎は、設計段階から、万が一津波が来襲しても最小被害になるように、窓ガラスは大きく、柱は円柱にして、海水やガレキが校舎に到達しても、圧力が掛かりにくいように考えられていた。また、校舎での待機も想定して、屋上には屋根裏倉庫が備えられていた。

屋根裏倉庫



国土交通省 東北地方整備局資料

被災した中浜小学校



国土交通省 東北地方整備局資料

窓を大きくして津波の威力を逃すように建てられた校舎



国土交通省 東北地方整備局資料